



(損保版)

第1~4月曜日発行
発行所 新日本保険新聞社
大阪府西区本町1丁目5-15
電話 (06) 6225-0550 (代表)
FAX (06) 6225-0551 (専用)
購読料 1か月2420円
(消費税、送料込み)
©新日本保険新聞社 2026

79th Anniversary since 1917
創業昭和22年
保険・共済業界と
共に歩んで79年

「代理店をするなら代協会員であるべき」という世界観を築き上げる

大阪代協

第19期(第64期)通常総会・会員大会を開く



新谷会長

総会の開催にあたり、新谷会長が、会長として務めた4年間のお礼を述べるとともに、「激動の時期にあつて、代協は代理店の立場で業界へ意見を発信してきた。これからはさらに代協の存在が重要性を増すことは間違いない。業界の流れを敏感に感じ取り、代理店の求める価値を提供し続けることで、代協という組織はさらに発展していくと確信している。胸を張り、誇りを持って一緒に保険業界の未来を語りましょう」と挨拶した。



隼田新会長

議案について全員一致で承認された。最後に、役員改選により選出された隼田智貴新会長が「新たな役員とともに、より一層の業界発展と組織の充実を目指す。社会環境や業界を取り巻く環境が大きく変化中、保険会社との連携、信頼を深めるべく歩みを進めていくので、引き続きご支援ご協力をお願いする」と挨拶し、通常総会は閉会した。



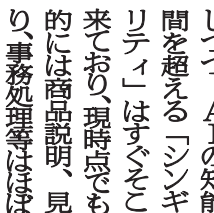
谷川課長

来賓挨拶では、財務省近畿財務局理財部金融監督第四課の谷川幸司課長が「顧客本位の業務運営を見つめ直し、保険業界が一体となって顧客に対して誠実、公平で最善の利益を提供することが信頼回復につながる。代理店業務品質評価制度によ



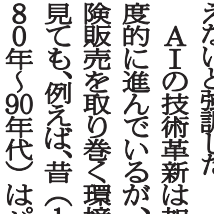
牧野氏

記念セミナーでは、東京大学大学院非常勤講師の牧野司氏が「AI全盛の時代にこそ求められる『一流代理店の人間力』」と題して講演を行った。



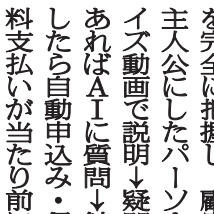
東口委員長

また、損保協会近畿支部委員会の東口嘉仁委員長は、損保協会として信頼回復に向けて取り組んでいることと、今年4月から開始した代理店業務品質に関する評価制度等に対し代理店に協力を求めた上で、「社会環境が急速に変化する中、代



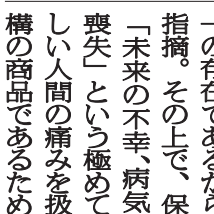
東口委員長

「と挨拶した。その後、2025年度優秀支部表彰が行われ、隼田会長から最優秀支部として京阪支部の郡泰範支部長、東大阪支部の戸佐間裕樹支部長、堺支部の門口勤支部長それぞれに表彰状が手渡されたほか、優秀支部に中央支部、南支部が選ばれた。さら



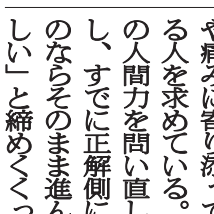
東口委員長

に2025年度防災資格取得者12名が紹介された。2026年度の取組方針で隼田会長は、「代理店をするなら、代協会員であるべき」という世界観を築き上げる代協の価値は、代理店賠償だけじゃない」をスローガに掲げ、「仲間を増や



東口委員長

「人を育てる」「情報を伝える」を大阪代協の目指す姿として、会員に対して①全会員アンケートの実施、②日本代協アカデミーの活用、③出前授業講師の積極受託、④顧客メリットを追求した提携事業拡大、⑤組織率80%を目指した仲間づくりの推進を宣言した。



東口委員長

「人を育てる」「情報を伝える」を大阪代協の目指す姿として、会員に対して①全会員アンケートの実施、②日本代協アカデミーの活用、③出前授業講師の積極受託、④顧客メリットを追求した提携事業拡大、⑤組織率80%を目指した仲間づくりの推進を宣言した。

AI全盛期の時代にこそ求められる「一流代理店の人間力」

記念セミナーでは、東京大学大学院非常勤講師の牧野司氏が「AI全盛の時代にこそ求められる『一流代理店の人間力』」と題して講演を行った。冒頭、同氏は、AIは「代理店を潰す」のではなく、「真の価値を掘り起こす」ものであるとし、「AIの知能が人間を超える「シンギュラリティ」はまだまだ遠くまで来ており、現時点でも技術的には商品説明、見積もり、事務処理等はすべて代替可能であると説明。ただ、これは脅威ではなく、代理店の仕事の正体は「人々の存在意義」であり、AIの技術革新は加速度的に進んでいるが、保険販売を取り巻く環境を見て、例えば昔(1980年~90年代)はパンフレット・約款で対面説明していた商品説明が、今ではWeb説明・動画、比較サイト等で行われるなど、すでに別次元に変わっていると指摘。さら